

平成23年度 自転車月間「自転車の日」記念行事 事業報告書



主 催： 自転車月間推進協議会

事務局：(財)日本自転車普及協会

後援：内閣府/警察庁/総務省/文部科学省/経済産業省/国土交通省/環境省/東京都/財団法人JKA



この事業は、競輪の補助金を受けて
実施したものです。

<http://ringring-keirin.jp>

サイクルドリームフェスタ2011 実施報告

1. 全体概要

5月は「自転車月間」ということで、5月4(水・祝)～5日(木・祝)に幕明けイベントである「サイクルドリームフェスタ2011」を科学技術館1階の特設会場で開催いたしました。天候にも恵まれて多くの子ども連れのご家族に来場いただきました。会場では、交通安全に積極的に取り組んでいる学校の紹介、自転車に関するトークショー、災害に役立つ自転車紹介、変わり種自転車試乗会等、自転車に触れて、見て、体験する様々なイベントを展開いたしました。

【目的】「自転車月間」は昭和56年5月に「自転車の安全利用の促進及び自転車駐車場の整備に関する法律」が施行されたことを記念して制定されました。その目的は自転車の安全教育や乗車マナーの向上と自転車を通じての国民体育の向上を図ることで、「自転車月間」の趣旨の浸透と参加意識の高揚を図るために主に若年層を対象とし、毎年5月に各種イベントを実施しています。平成10年度からは5月5日を「自転車の日」として創設し、広く一般市民への自転車月間の設定趣旨の浸透を図ってきました。さらに、平成22年度からは地球環境に優しいなど数々の利点を持つ自転車の活用を一層高める方策として、自転車の利用者自らが守るべき原則及び自転車を取り巻く環境整備について啓発するための「自転車市民権宣言」の全国的な普及啓発活動に取り組んでいます。

【開催概要】 総来場者数 3,353人【5月4日(晴れ):1,627人、5月5日(曇り):1,726人】

	23年度	22年度	21年度
入場者数(人)	3,353	2,236	2,844
前年比(%)	150.0	78.6	

【名称】 平成23年度自転車月間「自転車の日」記念行事 サイクルドリームフェスタ2011

【期間】 平成23年5月4日(水・祝)～5月5日(木・祝) 9:30～16:50

【会場】 科学技術館(東京都千代田区) 1階2号・3号催物場(入場無料)

【主催】 自転車月間推進協議会

【後援】 内閣府 / 警察庁 / 総務省 / 文部科学省 / 経済産業省 / 国土交通省 / 環境省 / 東京都 / 財団法人JKA

【ポスター・チラシ・プログラム】



ポスター(A1)
チラシ(A4)



プログラム表(A4)



プログラム裏(A4)

2. 事業の内容

[内容]

(1) ステージイベント

① 自転車トークショー

「バイコロジーってなあに？」 渋谷 良二 (財)日本自転車普及協会常務理事
「自転車ってすごい！」 疋田 智 自転車ツーキニスト
「中高年のおじさんがスリムに！」 内海 潤 「これが男の痩せ方だ！」 著者
「正しい乗り方で<美容と健康>」 石二鳥 絹代 サイクルライフナビゲーター

5/4(水)11:30-12:00

5/4(水)14:00-14:30

5/5(木)11:30-12:00

5/5(木)14:00-14:30

② 「ピーポくん交通安全教室」(協力:警視庁)

5/4(水)11:00-11:30/13:30-14:00

③ 「ガールズケイリントークショー」

5/4(水)12:00-12:30/14:30-15:00

④ 「自転車の歴史とメカニズム」

5/5(木)10:30-11:00/13:00-13:30

⑤ 「セサミストリートショー」

5/5(木)12:00-12:45/14:30-15:15

(2) 展示コーナー

① 自転車の安全利用に積極的な取り組みを行っている学校紹介

(協力:(財)日本交通安全教育普及協会・東京葛飾バイコロジー推進協議会)

② 自転車月間・バイコロジー紹介

③ 自転車安全走行シミュレーター

④ 災害に役立つ自転車紹介/自転車で発電チャレンジ

⑤ 自転車の歴史とメカニズムコーナー

⑥ 交通安全PR(協力:警視庁)

⑦ 自転車市民権宣言の紹介

⑧ 子乗せ電動アシスト自転車試乗会

(3) 屋外イベント

変わり種自転車試乗会(協力:(財)日本サイクルスポーツセンター)

(4) クイズラリー

場内を巡る自転車に関するクイズラリー

自転車の安全利用に積極的な取り組みを行っている学校紹介

今年は新たに「自転車の安全利用に積極的な取り組みを行っている学校紹介」を行いました。紹介する学校については、財団法人日本交通安全教育普及協会・東京葛飾バイコロジー推進協議会の協力を得て取材いたしました。

<柴又地区交通安全教室>

東京都の柴又地区の5つの小学校が持回りで管内の小学校児童や保護者の方を対象として自転車走行のルールや点検のポイントに関する説明会を実施している。

<ちがさき自転車プラン・レインウェアプロジェクト>

神奈川県茅ヶ崎市の高校では、高校生が着たくなる自転車用のレインウェア製作に取り組んだ。

<地域みんなの交通安全教室in津知小>

茨城県潮来市の津知小学校では、自転車免許制度のカリキュラムに基づき地域社会全体で子供、保護者、高齢者の三世代に対して交通安全指導の普及を目的とした活動を行った。



レインウェアプロジェクトにより製作された
レインコート「アメともくん」

平成23年度

柴又地区交通安全教室

主催: 東京都葛飾区交通安全協会
協力: 葛飾区教育委員会・東京葛飾バイコロジー推進協議会

本講習は交通ルール及び自転車の正しい乗り方を習得するために行われています。柴又地区の東柴又小学校、柴又小学校、住吉小学校、北野小学校、柴原小学校の5校で毎年各校持ち回りで開催し、管内の小学校児童、保護者の方に多数参加していただいております。

[当日の様子]

[平成23年4月23日(土)柴又小学校にて開催]

葛飾警察署 田口交通課長からの冒頭の挨拶で、「2010年に葛飾区で起こった交通事故発生件数905件のうち、自転車に関与した件数は416件、死亡数は5名のうち3名が自転車に關与していました。大人のマナーが悪く子供が真似をすることも多くなっている。大人が子供の手本になるようにしましょう。」と参加した保護者に訴えました。

葛飾警察署交通総務課所属の稲葉さんから自転車に乗る際の乗車と安全ルールの説明をしていただき、VTRによるルールの紹介・解説を行いました。また、ピーポくんが登場し講話を盛り上げてくれました。

※雨天のため予定していた体験乗車(①:電動機・十字路の通り方②:ジグザグ走行③:飛び出し注意について④:自転車の点検方法)は中止となりました。

協力:東京葛飾バイコロジー推進協議会

平成23年度

柴又地区交通安全教室

主催：青少年育成柴又地区委員会
協力：電利電報局、東京警察ハイコロジ推進協議会

講習に先立ちましてVTRで自転車走行のルールについて学びました。
参加した小学生の皆さんは熱心に見てくれました。

- VTRでは、あさりちゃんとその家族が自転車走行のルールについてわかりやすく説明してくれました。
- 携帯電話を使用しながら走行すると歩行者にぶつかるなどの危険性が高まると同時に、不注意による信号見落としが頻繁に起こっていること
 - 自転車に乗車する前に(ヘルメット・ブレーキ・タイヤ・サドル)をチェックすること
 - 自転車は車の仲間であり原則車道道路の左側を進行しなければならないこと
歩道を走るときは歩行者優先で、人が多いときは自転車をおりて、押して歩くことが必要なこと
 - 横断歩道があるときは、左右を確認し、自転車横断帯を渡る
自転車横断帯がない場合は自転車を降りて、横断歩道を渡る



自転車走行における4つの注意点(VTR内)

- 傘差し・携帯電話を使用しながらの運転の禁止
- “とまれ”の標識での一旦停止の必要性
- 夜間走行の際のライトの点灯の重要性。反射板取り付けのすすめ
- 2人乗り、並んでの走行の禁止

協力：東京警察ハイコロジ推進協議会

平成23年度

柴又地区交通安全教室

主催：青少年育成柴又地区委員会
協力：電利電報局、東京警察ハイコロジ推進協議会

VTRに続き婦警さんが参加した小学生の皆さんに質問を交えながら詳しく説明してくれました。
皆さんも元気よく答えていただき、楽しく学びました。

■自転車の仲間について

- 自転車は車の仲間？歩行者の仲間？
自転車は不思議な乗り物で降りれば歩行者、乗れば車の仲間です。横断歩道を渡るときは自転車を降りて押して歩いてください。自転車横断帯があるときは自転車を降りて通ることが出来ます。
- 自転車はどこを走ると？
自転車は歩道がない場合は車道の左側を走ってください。小学生以下(13才未満)の人は、車道と歩道の区別が付くときは歩道を走ってください。(大人は、自転車及び歩行者専用 の原簿がない場所は歩道を走るとは禁止されています。)歩道を走るときは歩行者優先で車道に近いほうを走ってください。



■自転車の点検について

- 乗る前の点検はとても大事です。5カ所の点検項目を忘れずに行きましょう。乗る前の言葉を知っていますか？
おうちの人と一緒にチェックしてみよう。

「ブタはしゃべる」

- ブレーキ……………ブレーキは効くか？タイヤは止まるか。
- タイヤ……………空気が漏れていないか？空気圧を確認しよう。
- ハンドル……………ハンドルがまっすぐ向いているか？
上から見てフレームと直角に交わっているか。
- しゃべり(車体)……………自分の身体に当たっているか？サドルを調整して、地面に
対してかかとが少し上になる位の高さにしよう。
- ベル……………ベルが鳴るか？

■乗り方の注意点について

- 自転車は原則として、車道の左側を走る乗り物です。進行方向に対して車は右を走ります。左側から来る訓練をしましょう。
- 自転車は便利でエコな乗り物ですが、乗り方を間違えると大ケガにもつながるので注意してください。



協力：東京警察ハイコロジ推進協議会

ちがさき自転車プラン・ レインウェアプロジェクト

寒川高校・茅ヶ崎高校・茅ヶ崎西浜高校・茅ヶ崎北陵高校・鶴岡高校

「人と環境にやさしい自転車のまち茅ヶ崎」 をめざして

■目的(コンセプト)

- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。

■第1回ワークショップ

- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。

■第2回ワークショップ

- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。

■第3回ワークショップ

- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。

■第4回ワークショップ

- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。

■第5回ワークショップ

- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。

■第1回学生総会開催

- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。

■第2回学生総会開催

- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。

■第3回学生総会開催

- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。

■第4回学生総会開催

- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。

■第5回学生総会開催

- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。

■今後

- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。
- 雨天時の自転車利用の利便性を高める。

ちがさき自転車プラン・ レインウェアプロジェクト

寒川高校・茅ヶ崎高校・茅ヶ崎西浜高校・茅ヶ崎北陵高校・鶴岡高校



ちがさき自転車プラン・ レインウェアプロジェクト

寒川高校・茅ヶ崎高校・茅ヶ崎西浜高校・茅ヶ崎北陵高校・鶴岡高校



ちがさき自転車プラン・ レインウェアプロジェクト

寒川高校・茅ヶ崎高校・茅ヶ崎西浜高校・茅ヶ崎北陵高校・鶴岡高校



内閣府・交通ボランティア実践活動推進事業 茨城県潮来市立津知小学校 「地域みんなの交通安全教室in津知小」

主催：内閣府・関東地区交通ボランティア実践活動推進実行委員会
協力（スタッフ）：茨城県警察本部交通安全課、行方警察署、茨城県生活環境部生活文化課交通安全まちづくり推進室、
潮来市消防団交通安全グループ、潮来市交通安全会の会津会

茨城県では、県内10の地域において「地域みんなの交通安全教室」を開催しています。この交通安全教室では「自転車免許制度」のカリキュラムに基づき、地域社会全体で子どもと保護者、高齢者の3世代に対する交通安全思想の更なる啓発・浸透と、交通事故の防止を図る事を目的として、各地域の交通ボランティアが中心となり実施するものです。

津知小学校においては、自転車通学をしている子どもたちやその保護者、地域の高齢者の方々と一緒に交通安全について学びました。

【自転車の乗り方、ルールについて（講習の様子）】



県警本部交通安全課より、自転車の安全で正しい乗り方、ルール、安全点検について講習を受けました。いつも自転車に乗っている子どもたちもルールなどの再確認ができました。

【自転車の乗り方、ルールについて（実践の様子）】



講習を受けた後、地域の交通ボランティアが、その地域の特性に合わせて作った自転車実技のコースで、実際に自転車で乗って、一時停止や安全確認の方法を学びました。まずは自転車の乗り方、ルールに基づいたお手本を警察官が見せました。

協力：財団法人日本交通安全教育普及協会

内閣府・交通ボランティア実践活動推進事業 茨城県潮来市立津知小学校 「地域みんなの交通安全教室in津知小」

主催：内閣府・関東地区交通ボランティア実践活動推進実行委員会
協力（スタッフ）：茨城県警察本部交通安全課、行方警察署、茨城県生活環境部生活文化課交通安全まちづくり推進室、
潮来市消防団交通安全グループ、潮来市交通安全会の会津会

【実践の様子】



子どもたちも、警察官のお手本を見て実践に臨みました。いつも自転車で乗り回している子どもたちもルールに従って走行では驚きそうでした。

【反射材効果実験の様子】



反射材が付いている物と付いていない物が暗闇の中でどのくらい見え方の違いがあるかを実験を通して学びました。

【シートベルト衝撃体験の様子】



時速50キロで事故にあった時の衝撃を体験して、シートベルトの安全性、必要性を学びました。

今回の自転車の安全な乗り方やルールについての講習、実践を受けた子どもたちには、記念として鉛筆入れの「自転車免許新証」が交付されました。

新証には自転車に乗る時のルールが書かれています。

協力：財団法人日本交通安全教育普及協会

ステージイベント

①自転車トークショー

「バイコロジーってなあに？」

5/4(水)11:30-12:00 渋谷 良二
(財)日本自転車普及協会常務理事

自転車の利点のほかに、単に移動手段としてではなく、物を運ぶことができる等、災害の時にいかに自転車が役に立つかを紹介した。また、自転車のルールを全て覚えるという以上に思いやりを持つことの大切さを訴えた。



「自転車ってすごい！」

5/4(水)14:00-14:30 疋田 智
自転車ツーキニスト

「日本では自転車のルールはいかに守られていないか」、「なぜ日本は自転車の事故が多いのか」等をデータや写真などを使いながら、わかりやすく説明され、会場の人を話に惹きこんでいた。



「中高年のおじさんがスリムに！」

5/5(木)11:30-12:00 内海 潤
「これが男の痩せ方だ！」著者

「食べる量を減らすだけで痩せるのではなく、自転車に乗ったり、運動をして健康的に痩せる」ということの重要性を説いた。また、ご自身があまりにも短期間で痩せたので、知り合いに気付いてもらえなかったというエピソードを紹介した。



「正しい乗り方で<美容と健康>一石二鳥」

5/5(木)14:00-14:30 絹代
サイクルライフナビゲーター

ママチャリとスポーツバイクの違い、スポーツバイクの実用的な使い方等を説明した。スポーツバイクにも物を入れるスペースを作ることができたり、日常生活にも使うことができると、スポーツバイクの新しい魅力を紹介した。



②「ピーポくん交通安全教室」

(協力:警視庁)

5/4(水)11:00-11:30/13:30-14:00

女性警察官とピーポくんがダンス等を通じて交通安全について子供たちと一緒に楽しく学んだ。



③「ガールズケイリントークショー」

5/4(水)12:00-12:30/14:30-15:00

三宅悠里選手 田中麻衣美選手

「競輪をはじめたキッカケや競輪学校に入るための条件」、「練習の厳しさや食事の管理」、「日頃はどのようなことをしているのか」等、一般の人には想像のつかない競輪の世界についてインタビューに答えていただいた。



④「自転車の歴史とメカニズム」

5/5(木)10:30-11:00/13:00-13:30

谷田貝 一男

(財)日本自転車普及協会
自転車文化センター学芸員

昔の自転車は乗るだけでも大変であったことや、運転には特殊な技術が必要だったという話を紹介した。また、ジャイロ効果など自転車のメカニズムについて会場にいらした方も参加しながら、わかりやすく説明した。



⑤「セサミストリートショー」 5/5(木)12:00-12:45/14:30-15:15

日常生活での年少者の防犯や安全のポイントを「いかのおすし」や「はさみ」というゴロ合わせで覚えやすく歌にした。ショー終了後にはエルモとリサお姉さんが場内を回って記念写真等グリーティングを行った。



展示コーナー

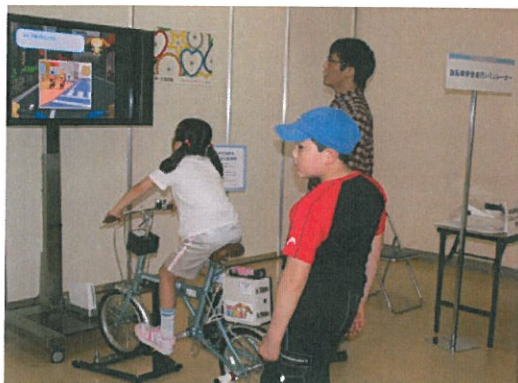
○ 自転車月間・バイコロジー紹介

「自転車月間」の設定趣旨や自転車が安全かつ快適に利用できる環境(自転車都市)をつくるという理念＝「バイコロジー」という言葉とともに、自転車安全利用五則を紹介した。



○ 自転車安全走行シミュレーター

自転車の安全ルールを画像を見ながら楽しく学んだ。満点を目指し何回もチャレンジする子どもの姿もあった。



○ 災害に役立つ自転車紹介／自転車で発電チャレンジ

空気の代わりに合成樹脂を封入したパンクしないタイヤ「リペアムゲル」、河川や湖沼等の淡水を上水道並みに浄化する「シクロクリーン」を災害に役立つ自転車として紹介した。また、発電チャレンジではワット数に応じて人形が踊るアトラクションを用意し、日ごろ使っている電力量を考えながら体験した。



○ 自転車の歴史とメカニズムコーナー

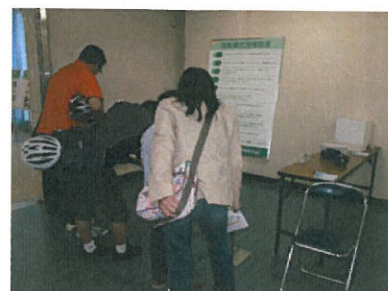
普段なかなか見ることができない昔の自転車の展示を通して、自転車がどのように進化を遂げてきたかについて紹介した。



- 交通安全PR（協力:警視庁）
交通安全に関する理解を深めるために、警視庁から提供いただいたポスターの掲示と資料の配布をした。



- 自転車市民権宣言の紹介
自転車市民権宣言の内容に賛同された方から署名をいただいた。



- 子乗せ電動アシスト自転車試乗会
子どもを乗せて自転車に乗る機会の多い保護者世代の方を中心に電動自転車を試乗・体験いただいた。



屋外イベント

- 変り種自転車試乗会(協力:(財)日本サイクルスポーツセンター)
3人乗り自転車や横に進む自転車等普段なかなか乗ることのできない変わった自転車を用意し、好評を博した。



○ クイズラリー

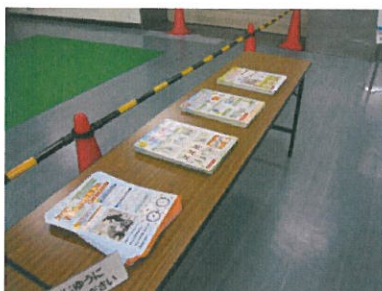
自転車に関するクイズを展示パネルのヒントをもとに10問出題した。会場内の各種コーナーを巡るように設定した。全問正解の方には星型の反射キーホルダーをプレゼントした。



サイクルドリームフェスタ2011 クイズラリー問題集	
以下の質問に答えて、クイズラリーカウンターに提出してください。	
全問正解の方には素敵なグッズを差し上げます。	
ヒントは会場内のパネルの中に隠れています。探してみてください。	
Q1: 「バイクショー」という言葉は「自転車を指すBike(バイク)」と何を組み合わせたものでしょうか？	① バイクショー ② バイクショー ③ サイコロショー
Q2: 「自転車の日」はいつでしょうか？	① 5月5日 ② 6月5日 ③ 7月5日
Q3: 「自転車安全利用五原則」の物語に合わないものはどれでしょうか？	① 夜はライトをつける ② ルールや信号を守る ③ 雨の日はカサをさして乗る
Q4: 自転車乗車の合言葉はどれでしょうか？	① クシはくベル ② ブタはしゃベル ③ トリはたベル
Q5: 自転車はどちらから乗った方がよいのでしょうか？	① 後ろから ② 前から ③ 左から
Q6: 歩道で乗らないといけないのはどれでしょうか？	① ペット ② 自転車 ③ 歩行者
Q7: 自転車が乗降に便利な乗り物であると言われるのは、何を排出しないからでしょうか？	① CO2(二酸化炭素) ② H2O(水) ③ CO(酸素)
Q8: 自転車は何の仲間とされるのでしょうか？	① 動物 ② 車両 ③ 歩行者
Q9: エアコンを使うには何ワット必要でしょうか？	① 200W ② 500W ③ 1000W
Q10: 汚れた水をきれいに浄化できる自転車の名前は？	① シクロクリーン ② シムラクリーン ③ クリクリーン

○ 受付&チラシ配布

受付において、「東日本大震災」被災者への義援金を受け、集まった義援金は日本赤十字社を通じて寄付した。また、東京都、(公財)日本交通管理技術協会、(社)日本損害保険協会のご協力の下、自転車の安全ルールや事故への備えが分かりやすく記載されたチラシを配布した。



広報展開

目的： サイクルドリームフェスタ2011自転車トークショーにご登場いただいた4名に、自転車を取り巻く状況、自転車の魅力及びその楽しさ等について熱く語ってもらいました。また、番組内にて自転車普及協会の各種取り組みを紹介するとともに、自動車のドライバーに自転車も車道走る仲間であるとのメッセージを訴えました。

日時： 2011年5月8日(日)19:00-19:55

放送局： TOKYO FMサンデースペシャル 日本自転車普及協会 presents "Let's Enjoy Bicycle"

(1) 事前告知

① イベント開催告知(20秒もの) 放送期間 2011年4月26日(火)～5月2日(月) 本数： 20秒×20本

ゴールデンウィークは、自転車に触れて、見て、ご家族で楽しみませんか？

財団法人日本自転車普及協会は、恒例の「サイクルドリームフェスタ2011」を科学技術館にて5月4日から5日まで入場料無料で開催いたします。詳しくは、自転車普及協会のホームページをご覧ください。

② イベント告知(60秒もの) 4/25(月)[10:29頃]、4/27(水)[14:54頃] 本数： 60秒×2本

自転車好き家族は科学技術館へ集合！

ゴールデンウィークは、元気なお子さんとお家の人みんなで、自転車に触れて、見て、楽しみませんか？

財団法人日本自転車普及協会は、5月の自転車月間の幕開けイベントとして「サイクルドリームフェスタ2011」を科学技術館にて5月4日から5日まで入場料無料で開催いたします。主なイベントは、お子様向けには、変わり種自転車や正しい乗り方を学べる自転車シュミレーターの試乗会。セサミストリーのキャラクターショーも実施します。大人向けには、災害地で活躍する自転車の紹介。自転車に関するトークショーでは、メタボ親父が痩せた、ママが美しく健康になる方法等。また、今注目のガールズケイリン選手も登場します。イベント開催日等詳細は、自転車普及協会のホームページをご覧ください。

③ 番組内で紹介した協会の活動等

(自転車市民権宣言の紹介)

みなさん、「自転車市民権宣言」って、ご存知ですか？近ごろ、自転車は、エコで健康に良い乗り物として注目されていますが、一方で、自転車事故の増加や、運転マナーが問題になっています。そこで、日本自転車普及協会では、自転車を、安全で快適に利用できる環境を作るために、「自転車市民権宣言」の署名活動を行っています。これは、自転車の利用者が守るべき原則を定めて、それに賛同する方に署名していただくことによって、「自転車の市民権」を確立していこう！というもの。(次ページにつづく)

この原則の中には、自転車は車道の左側を走る。ヘルメット着用や夜間はライトを点灯する、といった運転マナーも含まれていて、いつでも、日本自転車普及協会のホームページから署名することができます。皆さんからいただいた署名は、自転車走行環境整備を求める国民の声として活用されます。ぜひ、ご協力をお願いします。そして、車を運転するドライバーの皆さん。自転車も車道を走る皆様の仲間です。自転車を追い越す時は間隔をあけて、ゆっくり通り過ぎてください。ぜひ安全運転をお願いします！

(バイコロジー運動について)

みなさん、「バイコロジー」という言葉をご存知でしょうか？これは自転車のBikeとEcologyを掛け合わせた造語で、「自転車を安全で快適に使える環境を整備することで、自然豊かな人間味あふれる社会をつくることを目的。」とした言葉です。地球温暖化対策の1つとしても自転車が注目される一方で、駅周辺の放置自転車や、自転車のルールとマナーの低下が問題になっています。そこで、日本自転車普及協会では、こうした問題を解決するためにバイコロジー運動を進めています。たとえば、交通安全週間に行う街頭キャンペーンや自転車を通じた地域作りを考えるシンポジウム等を実施しています。詳しくはホームページをご覧ください。そして、クルマを運転するドライバーの皆さん。自転車も車道を走る皆様の仲間です。クルマのドアを開ける時は、後ろから来る自転車に十分注意してください。ぜひ、安全確認をお願いします。

(自転車文化センターの紹介)

世界最初の自転車は何年に製造されたか、ご存知ですか？実はいま、その自転車が日本で展示されているんです！日本自転車普及協会では、自転車が誕生してから今日までのおよそ200年という長い歴史を紹介することで、“人と自転車・社会と自転車”の関わりを考える場として、自転車に関する総合情報発信基地・自転車文化センターを北の丸公園の科学技術館内に常設しています。1817年に製造された世界最初の自転車「ドライジーネ」の展示をはじめ、2万点余りの資料の公開、自転車シミュレーター等最新機器を活用した子供達への交通安全の啓発活動も行っています。ぜひ、遊びにいらしてください。そして、クルマを運転するドライバーの皆さん。自転車も車道を走る仲間です。左折する時は自転車を巻き込まないように十分気をつけて下さい。右折する時も、アイコンタクトするなどして安全確認をお願いします。

(2)サンデースペシャル番組構成

①サイクルドリームフェスタ2011の概要紹介

来場者へのインタビューやシクロクリーン及び変り種自転車の紹介等。

②疋田 智さん(自転車ツーキニスト)

メッセンジャー(自転車便)のおかげで、「速い自転車が車道にいる」という認知がなされ、都内では自転車が乗りやすくなった。その一方でオランダなど諸外国と比較すると、日本は自転車のインフラや法律面で遅れている部分もある。自転車に乗ることは街をより身近に感じる事ができ、とても魅力的である。

③内海 潤さん(「これが男の痩せ方だ」著者)

自転車だけでは実は痩せない。ロープ体操というエクササイズをするとともに、食べる量を適切にする。この上で自転車に乗って痩せることができた。脂肪を燃焼しやすい体質にして、有酸素運動である自転車と組み合わせることで痩せることが良い。

④絹代さん(サイクルライフナビゲーター)

自転車に乗ると足が太くなるイメージがあるが、実際はそうではなかった。楽しく自転車に乗っている間にボディラインが良い方向に変わってくる。100km自転車で走れたというような成功体験によってストレスに強い前向きな自分になることができた。

⑤渋谷 良二((財)日本自転車普及協会常務理事)

30数年ほど前に自転車の死亡事故が増えたため、緊急避難としてとりあえず自転車は歩道に上がってもらった。その後、環境整備がほとんど行われないまま30数年が経過してしまった。そのために今日では自転車による歩行者との接触事故が数多く発生している。今こそ原点に戻って「どうしたら自転車が安全に車道を走れるか」を考えなければならない。

(3)テキストリンク 4/24(日)～5/5(木)まで

東京FMのホームページに～サイクルドリームフェスタ2011～開催告知リンクを掲載した。

○ サイクルドリームフェスタ2011及び自転車月間掲載紙(抜粋)

(株)インタープレス
週刊 輪界レポート5月16日号

(2) 週刊 糖界レポート 第3160号 2011年5月16日(月)

5/4～5「サイクルドリームフェスタ2011」を開催
安全利用に積極的な学校紹介や震災に役立つ自転車展示も

自転車月間「自転車の日」の記念事業「サイクルドリームフェスタ2011」が5月4日、5日の両日、東京・千代田区北の丸公園の科学技術館1階のイベントホールで開催された。

今回は、「小・中学生・高校生・大学コンクール」が中心となった。このうち内省を一部変更し、自給自足の安全な食料を確保する「食料自給コンクール」や、英語でプレゼンする「学校の英語プレゼンコンクール」など、4つの自主企画を主催し、各校の先生から推薦された作品を審査した。また、東日本大震災から自給自足の取組が見直されたことから、自給自足に立つ自給自足コンクールが設けられ、ノーマン・タガメ氏や自給自足推進ネットワーク、自給自足発を招き、賞状と賞状額面による表彰式を行った。このコンクールの試みで、自給自足の取組が、自給自足の試みで、

屋内イベントでは、白、ビーズ、文交安全教室（智恵） 自転車トークショー「サイコロジにやなへ？」（自費）

[illegible]

(財)日本交通安全教育普及協会
交通安全教育 5月号

(財)全日本交通安全協会
自転車利用促進ポスター(B2)

[illegible]

(財)日本交通安全教育普及協会
交通安全教育 7月号

(財)自転車駐車場整備センター
放置自転車一掃の標語ポスター2種



Photo Report

使島スマートドライバーセーフティラリー2010 公開抽選会 開催
(無事故・無違反コンクール)

平成25年2月加古川市徳島県民局の「あむぎんホール徳島県民文化会館」において、「徳島スポーツドライバースクールセーフティラリー2010 公衆交通安全」(主催:徳島県スポーツドライバースクール)実行委員会、協賛:大塚製薬ホールディングス(株))が開催されました。

このセーフティラリーは、ドライバースの交通安全意識の向上と安全運転の実践化を促進し、交通事故防止に資するとともに、地域全体の交通安全意識の高揚を図ることを目的に、地域の関係機関・団体等の連携協力のもと実施され、昨年(2009)に続き2回目となります。実施概要表のとおりです。

夢 實 務：夢遊病に罹るまたは夢遊病中に活動、同様の運動能力は有る
夢 遊 部 門：男性チーム、女性チーム、男女混合チーム、シニアチーム（65歳以上の男女を採
われない）、5人～9人/1チーム
ナリ～開閉：平成22年9月1日～12月31日（4か月間）
● 参加者チーム：24歳以下チーム 加齢層、無運動経験者チーム：20歳以下

不公開招開演は、無事最・無事故に達成したチームを表彰に行われ、各部門、1等5チーム、2等10チーム、3等30チームに賞品が授けられた。

また当日は、増産会のはな、懸望国交安全対策協議会表紙、諸藩の柱も福氏による交通安全、世帯別警察員隊による演説、ひまわり劇団による交通安全曲も行われるなど、急しく交通安全を訴へていくなかにあつた。



5月は自転車月間です

自転車月間は、「自転車の安全利用の促進及び自転車駐車場の整備に関する法律」（自転車基本法）が昭和56年5月に施行されたことを記念して設定されたもので、この月間中には、自転車利用のルール遵守・マナー向上キャンペーン等、さまざまな行事が実施されます。

Photo Report

平成23年度 自転車月間「自転車の日」記念行事
サイクルドリームフェスタ 2011 開催

[illegible]

Photo Report

[illegible]

公益社団法人自動車技術会「2011年春季大会」開催

[illegible]

フォーラム「交通機関利用者のセロをめざして—手話安全の現状と展望—」
パネルディスカッション

※ その他、「自転車月間」のイベントとして、5月22日(日)に「東日本大震災復興支援サイクリングの日・集中チャリティライド／(財)日本サイクリング協会主催」(自宅～神宮外苑まで)が150名のサイクリストを集めて行われた。

自轉車月間推進協議会 構成団体

- (財)省エネルギーセンター
- (財)ユースワーカー能力開発協会
- (財)健康・体力づくり事業財団
- (財)国立公園協会
- (公財)あしたの日本を創る協会
- (財)全日本交通安全協会
- (社)中央青少年団体連絡協議会
- (財)日本交通安全教育普及協会
- (公財)日本自然保護協会
- (公財)日本体育協会 日本スポーツ少年団
- (社)日本PTA全国協議会

- (財)日本ユースホステル協会
- (公財)日本レクリエーション協会
- (公財)ボーイスカウト日本連盟
- (社)ガールスカウト日本連盟
- (財)自転車産業振興協会
- (財)日本自転車普及協会
- (財)日本サイクリング協会
- (財)日本自転車競技連盟
- (財)日本サイクルスポーツセンター
- (財)自転車センター

(社)自転車協会
日本自転車軽自動車商協同組合連合会
(財)日本車両検査協会
(公財)日本交通管理技術協会
(財)自転車駐車場整備センター
(社)日本観光協会
日本レンタサイクル協議会
バイクロジャーをすめる会連絡協議会
(財)日本障害者スポーツ協会
(一社)全日本実業団自転車競技連盟